

於ける爲替暴落は遠洋配船を激増せしめ、海運界に異常なる活況をもたらすに至つたが、此の如き泡沫的現象に對して正しき認識を缺如せる一部海上資本家の盲動こそは、海上労働者の誠意を裏切るものであつて、近き將來海運界の不況に致命的拍車を加ふべきものなることを確信する。

此の如き情勢下に於ける本組合運動が、是に對應すべくその態様を複雑ならしめたことは素より言ふまでもない。勿論本組合は本質的に全無産階級の全面的解放の上に吾等の解放を意圖してゐる。従つて吾國無産階級に對して絶好の機會を提供した資本主義の危機に直面して、本組合は兩餘の諸組合と共に斷乎たる決意を必要としたが、吾國無産階級の結集勢力が尙是に最後の打撃を與へ得ざりし現實を、吾等は日本全無産階級の名に於いて遺憾とするものである。然し乍ら本年度經濟戰線の分野に於いて日本労働俱樂部が日本労働組合會議に發展的解消をとけて吾國に於ける労働組合主義の擴充のために飛躍的段階を劃し、更に又政治戰線の分野に於いて單一無産政黨の出現を見た事は、本組合多年の努力の一結晶として吾等の私かに悦びとする處である。

然しながら、この新陣列を以て直ちに全組織労働者の完全なる動員組織と見ることは出来ない。従つて本組合運動が、現在の資本主義機構の下に於いて、直接海運界に於ける勞資關係の合理化と、海上労働者の生活權確保のために全勢力を傾倒したことも亦止むを得ぬ處であらう。

此意味に於いて本年度最も重點を置いた問題は前年度以降の日本海運再組織運動であつた。その結果海事審議會の答申を通じて船質改善法の實施を見たことは本組合多年の要望たる老朽船舶淘汰問題の解決に資する處甚大なるものがあつた。然も本運動の戰術的效果——國家經濟に對する本組合の誠意の強調——は、政府をして第六十四議會に船舶安全法案を提出せしめ、失業海員救濟事業助成運動の好轉となり、日支船員交代問題の輿論的支持となり、更に又最低賃銀復舊を實現せしむる一助となつた。

最低賃銀は、昭和六年二月、當時の海運不況打開の一助たらしむべく、忍ぶべからざる犠牲を忍んで一部低下を承認して以來約二箇年、組合の全力的努力にも拘らず、海運不況の深刻化は遂にその復活の機會を把握せしめ得なかつたのであるが、遂に七年十二月、海運界の畸形的活況の裡に年來の宿望を實現するに至つたものであつて、海上資本家群の認識に於いて尙海運界の不況は本質的に克服せられたるものに非ずとなすにも拘らず、談笑裡に是を獲得した所以は、本組合の海運再組織に對する眞摯なる態度がその一半の原因を負ふべきものである。

又海員失業問題は、本年度に於ける重要問題として、前年度より引續き助成金を得て海員失業救濟授産事業を經營しつつあると共に、船質改善法實施によつて生ずる失業者救済のための費用を交附せしむることを決定した。此の如きは労働組合運動の消極的對策にすぎずと雖も、現實問題を處理する爲めには特に効果的実績の大なるものである。失業防止は更に重大なる問題であつた。然も此點に關して船員の無統制なる必要以上の養成機關たる官公立商船學校の養成制限、新海員の一ヶ年間乗船中止、及船員徴兵検査便法の成文化等を獲得したことは大なる成果と言はなければならぬ。

更に此等の對外的運動の外、對内的には組合財政の確立を期するがために財團法人海員會館を設立した事は本組合の組織に於いて劃期的重要問題であつた。

以上の如く、本組合は過去一ヶ年間に於いてその一般的社會不安の増大にもかゝらず相當の成果を收めたことは吾々の喜びとする所であるが、昭和七年度組合大會に於いて決議せる十數項の重要問題に對して尙未だ充分なる解決を與へ得ざるものある事は最も遺憾とする處であつて、此等の諸問題に實質的な解決を與ふるや否やは今後の運動に俟つ處至大であり、従つて又組合員各位の絶大なる支援を求めて止まぬ次第である。

最後に組合創立以來精神的及經濟的に言語に絶する貢獻をせられた前組合長顧問橋本太郎氏が昭和七年十月二十二日永眠せられたことに對して、本組合は茲に衷心より哀悼の意を表すると共に、その遺思を繼承して海上労働階級解放のために更に精進すべきことを誓明するものである。